

5月を迎えて

中郡小学校の児童・保護者のみなさまへ

休みが長引いている中、家庭学習の取り組みへのご協力ありがとうございます。ご家族総出で、お子さんにあたたかな励ましや叱咤激励をしてくださっていることが、提出されたワークやプリントから手に取るように感じられます。特に、低学年のお子さんは、おじいさんおばあさんから見届けをいただいております。感謝申し上げます。

さて、国内でも、連日新たな事態が起こり、テレビ・新聞では新しい情報が流れ、安倍総理大臣や萩生田文科大臣の答弁を聞いても、国自体も混迷している様子がわかります。もちろん、世界・国・社会全体としての問題が起こっているわけですので、学校だけが解決する、ということにはなりません。すんなり、元通りの授業が再開できるのはむしろ嬉しいのかもしれませんが。

そのような中、学校としては「子ども達の学びを止めないために」どうすれば良いかを考え続けています。

3月は、「復習を中心とした家庭学習」の課題が中心でした。

4月からは、新しい教科書も配付できたので「新年度の学習」にも取り組めるよう、課題を考えています。技能教科などの課題も入れ、「お手伝い」や「運動」などにも、取り組んでもらっています。動画配信やHPリニューアルも、その一助となれば・・・との思いで作っています。

また、今年度川西町の小学校では、TV会議を使って、町内の同じ学年の担任同士が情報を交換しながら、新しい教科書の進め方や課題の出し方の研修を行っています。そのような取り組みをしながら、みなさんに課題を届けています。

先生方にとっても、もちろん初めての経験ですので、上手くいかないこともあります。知恵を出し合い、試行錯誤しながら取り組んでいる日々です。

緊急事態宣言も一ヶ月ほど延長されるようですが、それは一刻も早く事態を終息させるためです。学校が一斉にパッと再開できないのも、同じ理由です。人との接触を80%減少させるのと70%減少では、2ヶ月の開きがあると言われるぐらい、とにかく「人が移動しない、接触を減らす」ことが、今は唯一の手立てです。

このような今こそ、人々が力を合わせ、この難局を乗り越えようと努力する姿を見せることが、私たち大人に課せられた役割ではないでしょうか。

家庭訪問をして、逆に担任に励ましのお言葉をたくさんいただきました。中郡小学校の子ども達の元気な声が、一日でも早くグラウンドに響くことを励みに、これからも教職員一丸となってまいります。

もうしばらくの辛抱です。

一緒に乗り越えましょう。

長くなりました・・・(^_^;

*4/29朝日新聞に「ドラえもんからのメッセージ」が掲載させています。

「だいじょうぶ。みらいは元気だよ。」 ぜひ、みてください。

校長室より